

国土強靱化に関する インターネットアンケート調査結果

- 1 調査の概要
- 2 回答者について
- 3 アンケート調査結果

平成31年2月

鳥取市都市整備部都市企画課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

現在本市では、いかなる自然災害が起こっても、機能不全に陥る事が避けられるような「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な社会経済システムを構築する指針として、「鳥取市国土強靱化地域計画」の策定を進めています。

このたび、策定に向けてより多くの方に「国土強靱化」を知っていただき、より充実した地域計画とするためアンケートを行った。

(2) 調査方法

① 調査対象

平成30年度鳥取市インターネットモニター 51人

② 調査方法

インターネットを利用して送信

(3) 調査期間

平成30年12月24日（月）～平成31年1月4日（金）まで

(4) 回答者数

39人（76.5%）

(5) 調査結果の数値について

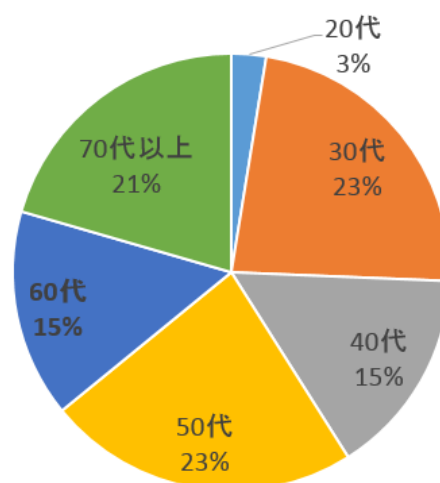
複数回答可の設問については、回答数を全回答数で割った数値を項目ごとに出し、回答割合を算出した。

2 回答者について

○年齢

(単位:人)

選択肢	回答数	回答割合
20代	1	2.6%
30代	9	23.1%
40代	6	15.4%
50代	9	23.1%
60代	6	15.4%
70代以上	8	20.5%
合計	39	100.0%



○お住いのエリア

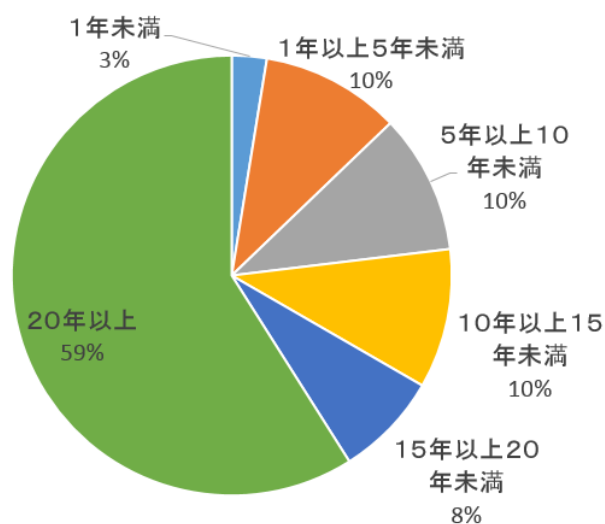
(単位:人)

選択肢	回答数	回答割合
旧鳥取市域	37	94.9%
国府地域	1	2.6%
福部地域	0	0.0%
河原地域	1	2.6%
用瀬地域	0	0.0%
佐治地域	0	0.0%
鹿野地域	0	0.0%
青谷地域	0	0.0%
気高地域	0	0.0%
その他(市外・県外等)	0	0.0%
合計	39	100.0%

○お住いのエリアの居住年数

(単位:人)

選択肢	回答数	回答割合
1年未満	1	2.6%
1年以上5年未満	4	10.3%
5年以上10年未満	4	10.3%
10年以上15年未満	4	10.3%
15年以上20年未満	3	7.7%
20年以上	23	59.0%
合計	39	100.0%

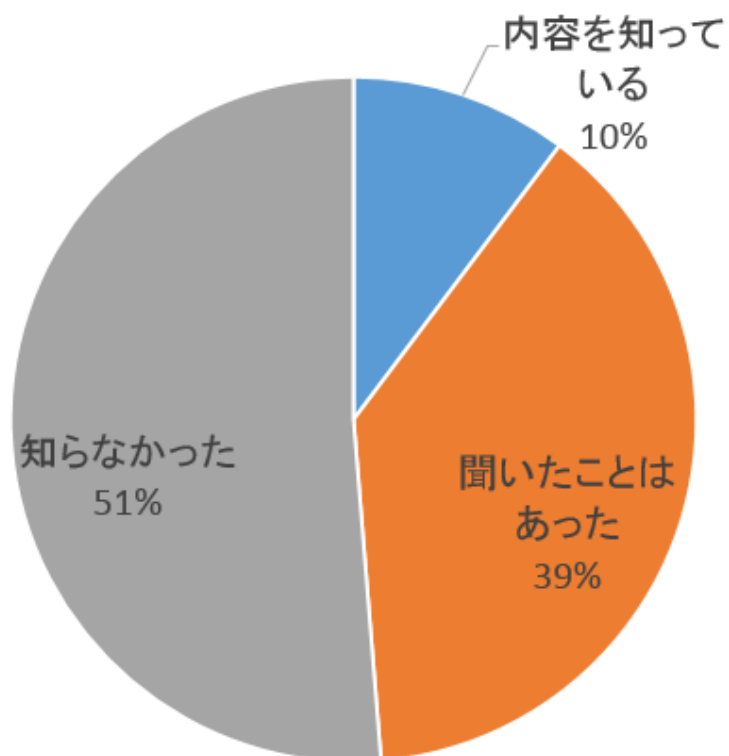


3 アンケート調査結果

(1) あなたは、現在国、県や市などが「国土強靱化」を進めていることをご存知ですか。

(単位:人)

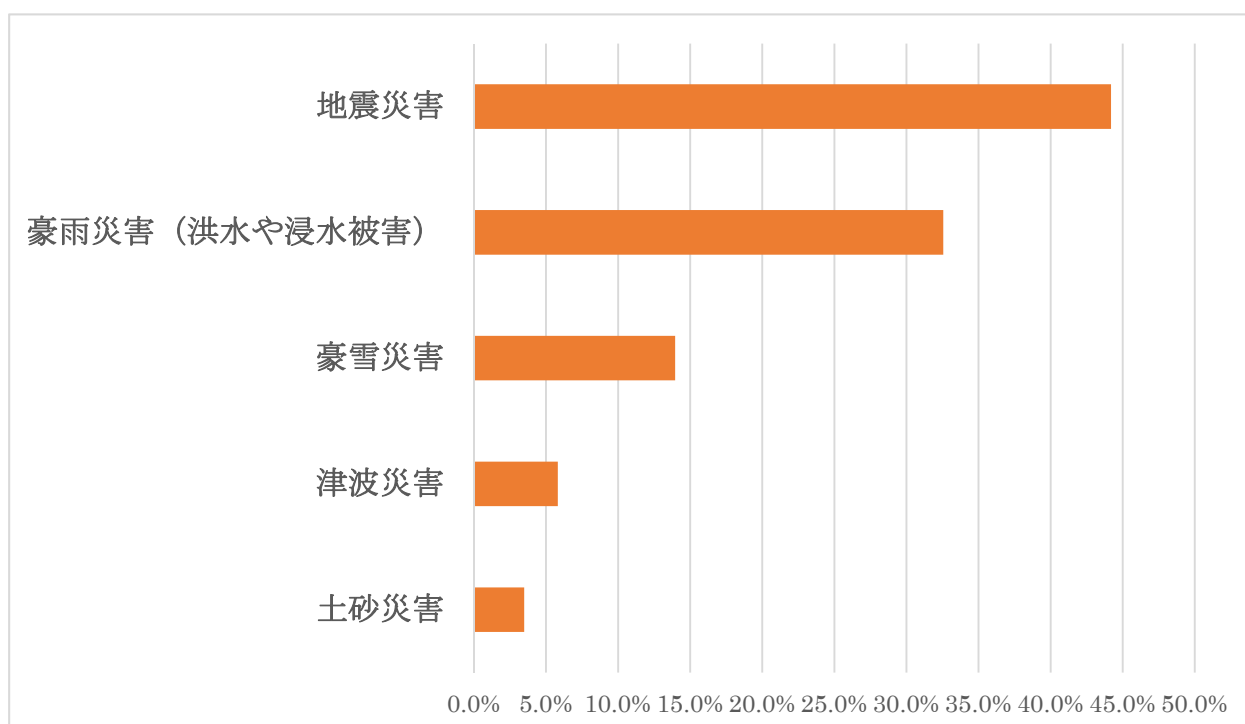
選択肢	回答数	回答割合
内容を知っている	4	10.3%
聞いたことはあった	15	38.5%
知らなかった	20	51.3%
合計	39	100.0%



(2) 今後起こりうる大規模自然災害の中で脅威を感じる自然災害はどれですか。※複数回答可(2つまで)

(単位:人)

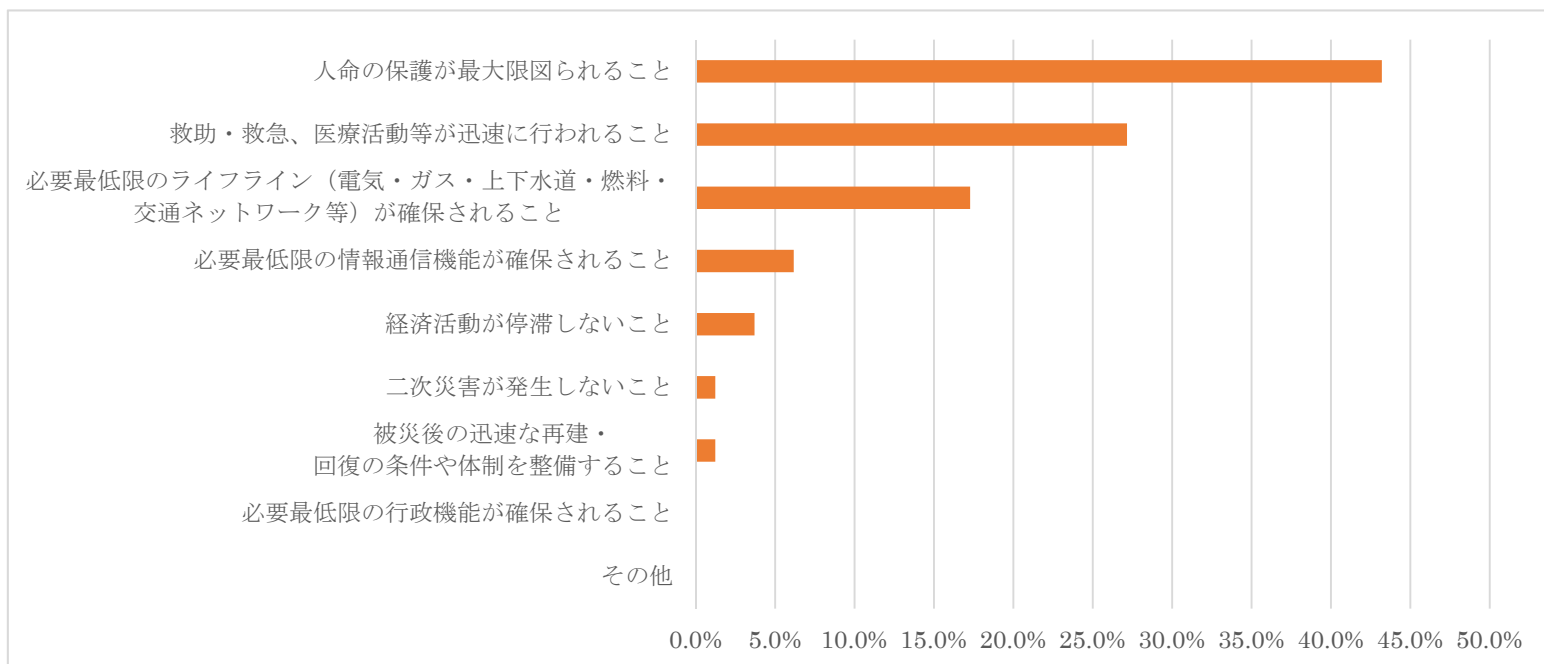
選択肢	回答数	回答割合
地震災害	38	44.2%
豪雨災害(洪水や浸水被害)	28	32.6%
豪雪災害	12	14.0%
津波災害	5	5.8%
土砂災害	3	3.5%
合計	86	100.0%



(3) 本市において、大規模自然災害に事前に備えるべき目標として優先度が高いと思われるものはどれですか。※複数回答可（2つまで）

(単位:人)

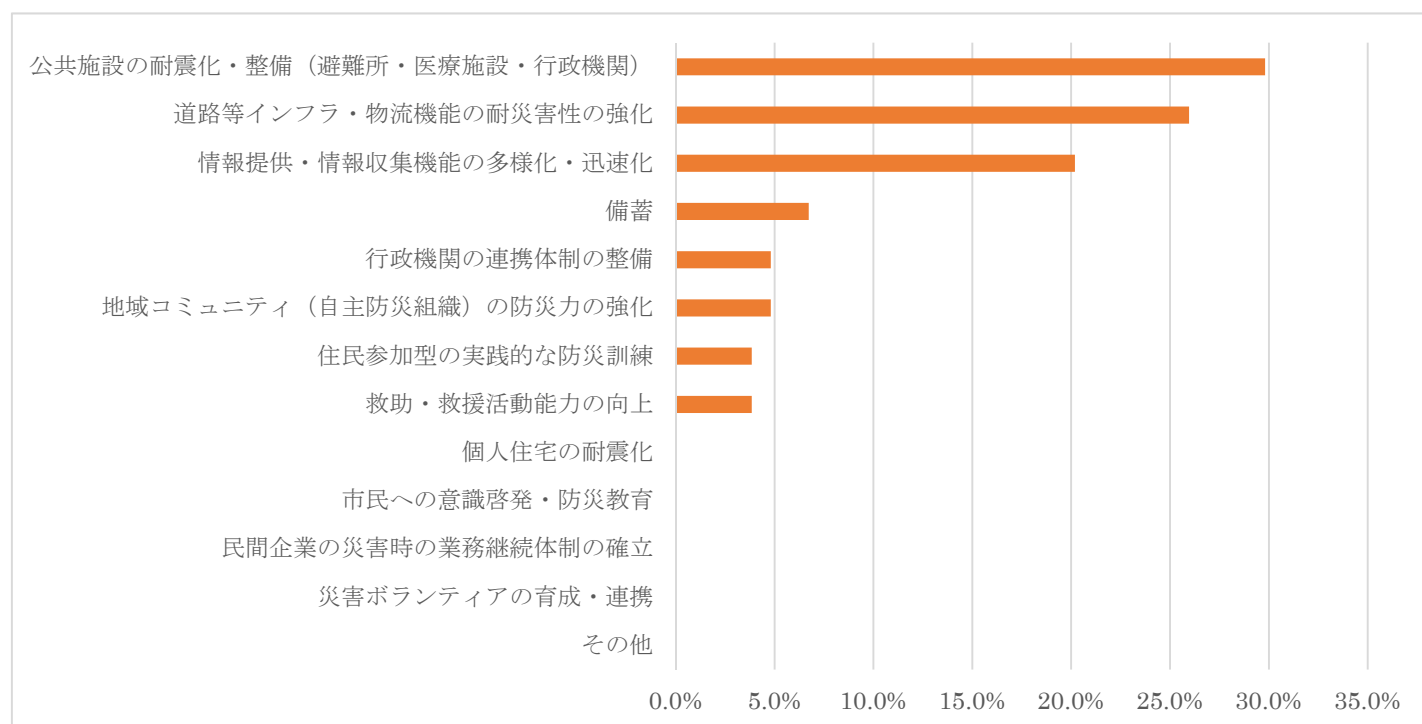
選択肢	回答数	回答割合
人命の保護が最大限図られること	35	43.2%
救助・救急、医療活動等が迅速に行われること	22	27.2%
必要最低限のライフライン(電気・ガス・上下水道・燃料・交通ネットワーク等)が確保されること	14	17.3%
必要最低限の情報通信機能が確保されること	5	6.2%
経済活動が停滞しないこと	3	3.7%
二次災害が発生しないこと	1	1.2%
被災後の迅速な再建・回復の条件や体制を整備すること	1	1.2%
必要最低限の行政機能が確保されること	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	81	100.0%



(4) 本市において、大規模自然災害に対する対策として優先度が高いと思われるものはどれですか。※複数回答可（3つまで）

(単位:人)

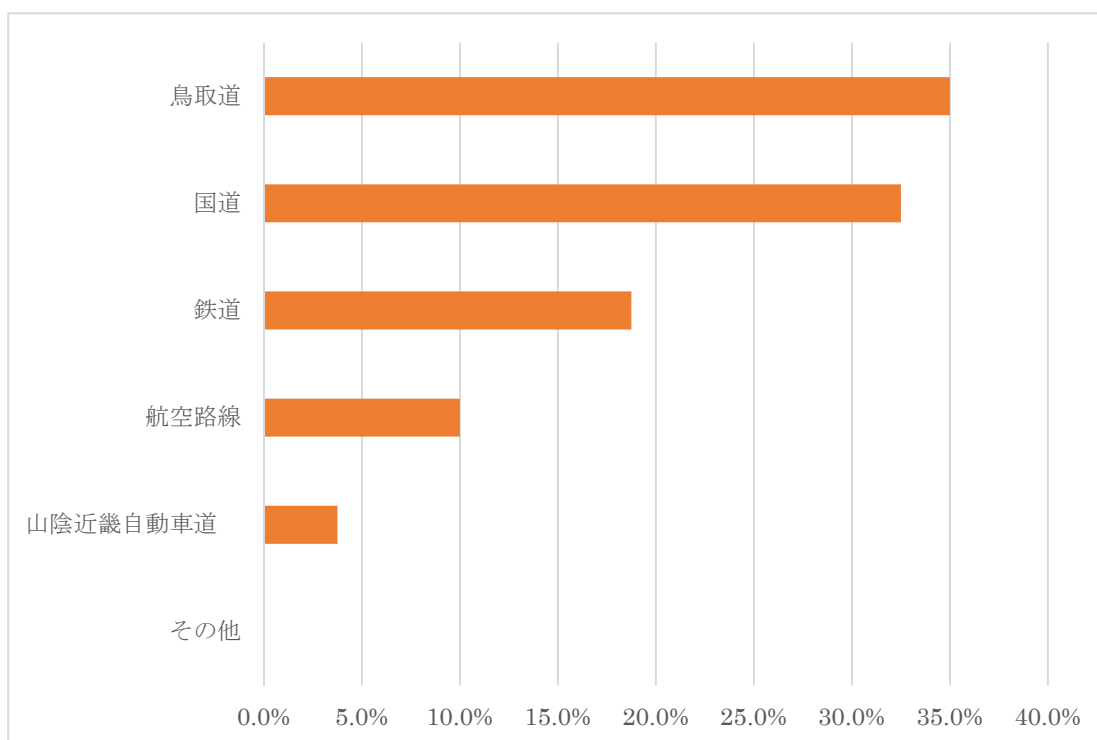
選択肢	回答数	回答割合
公共施設の耐震化・整備(避難所・医療施設・行政機関)	31	29.8%
道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化	27	26.0%
情報提供・情報収集機能の多様化・迅速化	21	20.2%
備蓄	7	6.7%
行政機関の連携体制の整備	5	4.8%
地域コミュニティ(自主防災組織)の防災力の強化	5	4.8%
住民参加型の実践的な防災訓練	4	3.8%
救助・救援活動能力の向上	4	3.8%
個人住宅の耐震化	0	0.0%
市民への意識啓発・防災教育	0	0.0%
民間企業の災害時の業務継続体制の確立	0	0.0%
災害ボランティアの育成・連携	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	104	100.0%



(5) 大規模自然災害により途絶した場合、最も影響が大きいと思われるものはどれですか。※複数回答可（3つまで）

(単位:人)

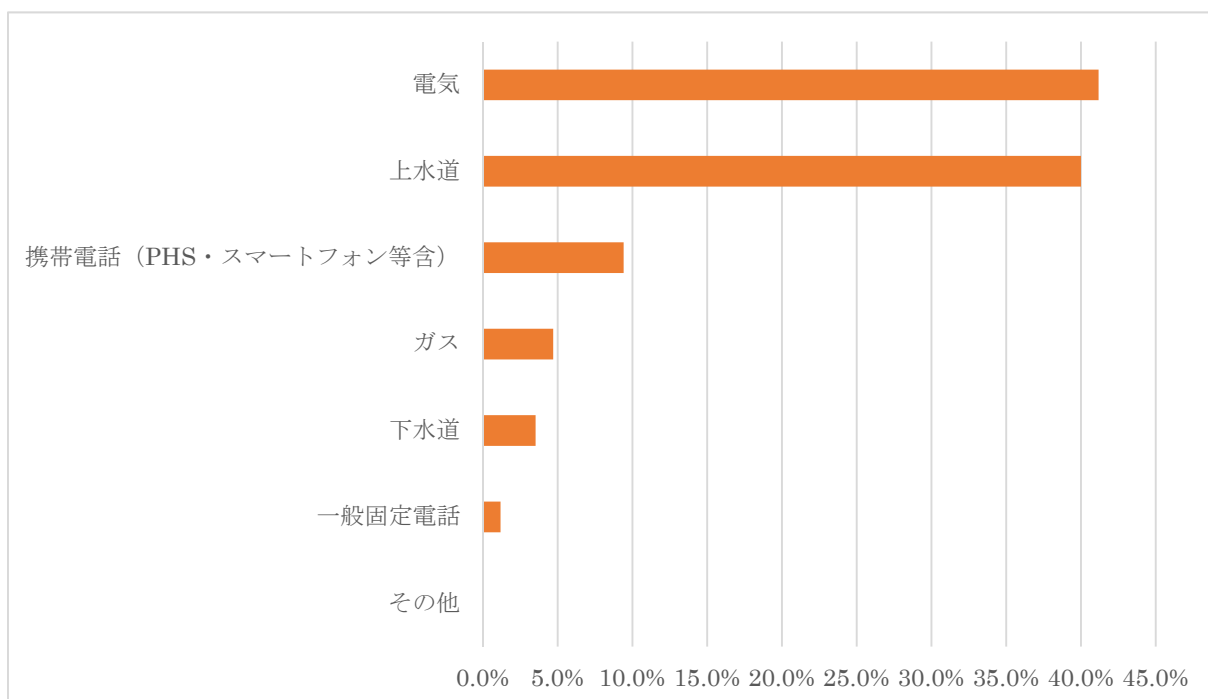
選択肢	回答数	回答割合
鳥取道	28	35.0%
国道	26	32.5%
鉄道	15	18.8%
航空路線	8	10.0%
山陰近畿自動車道	3	3.8%
その他	0	0.0%
合計	80	100.0%



(6) 大規模自然災害により機能不全となった場合、最も影響が大きいと思われるライフラインはどれですか。※複数回答可（2つまで）

(単位:人)

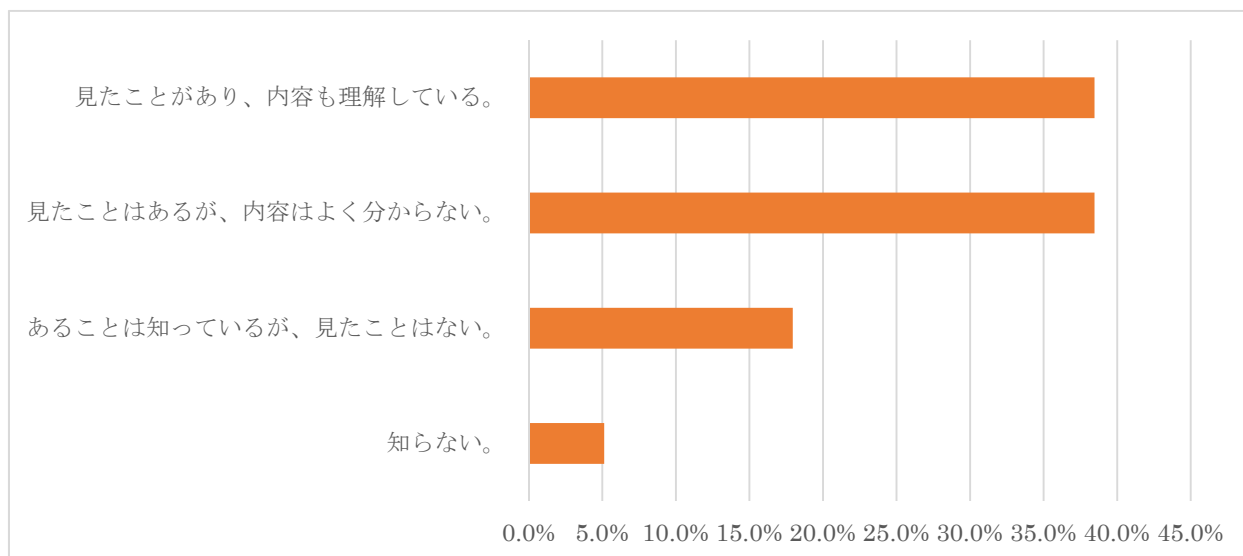
選択肢	回答数	回答割合
電気	35	41.2%
上水道	34	40.0%
携帯電話(PHS・スマートフォン等含)	8	9.4%
ガス	4	4.7%
下水道	3	3.5%
一般固定電話	1	1.2%
その他	0	0.0%
合計	85	100.0%



(7) お住まいの地域のハザードマップを知っていますか。見たことはありますか。

(単位:人)

選択肢	回答数	回答割合
見たことがあり、内容も理解している。	15	38.5%
見たことはあるが、内容はよく分からない	15	38.5%
あることは知っているが、見たことはない。	7	17.9%
知らない。	2	5.1%
合計	39	100.0%

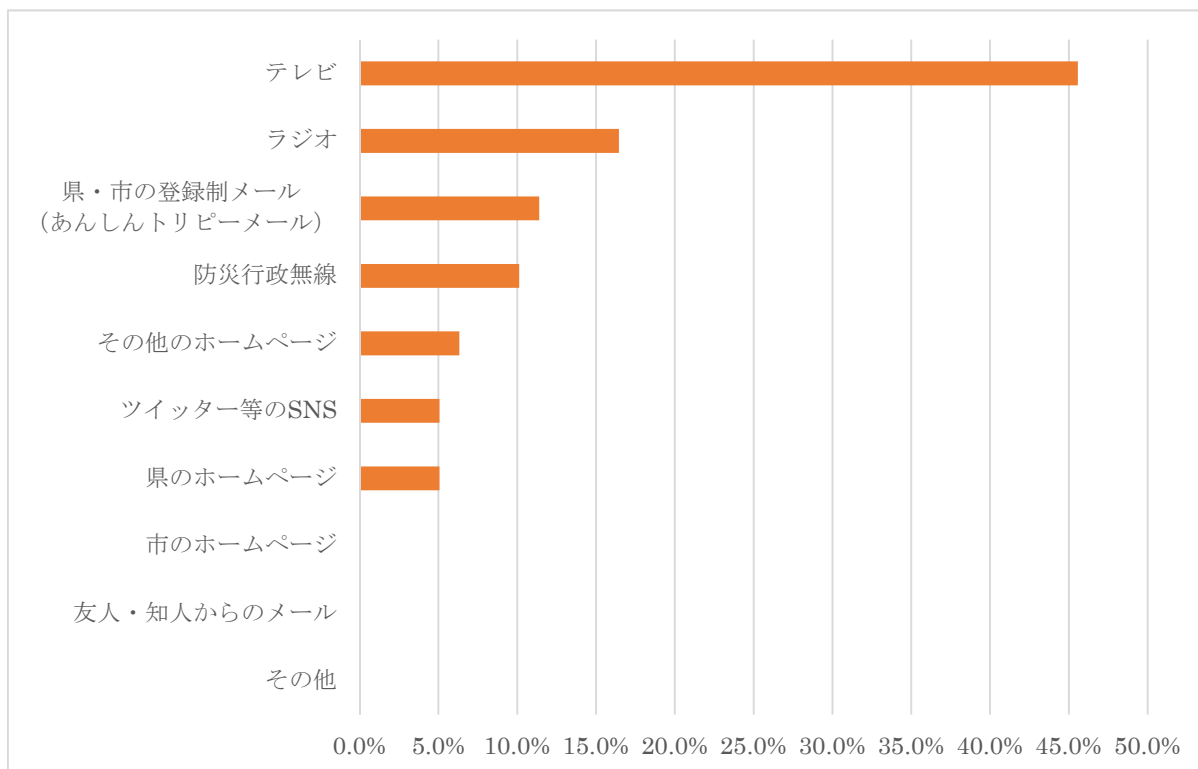


(8) 災害情報の入手先として利用しているものはどれですか。

※複数回答可

(単位:人)

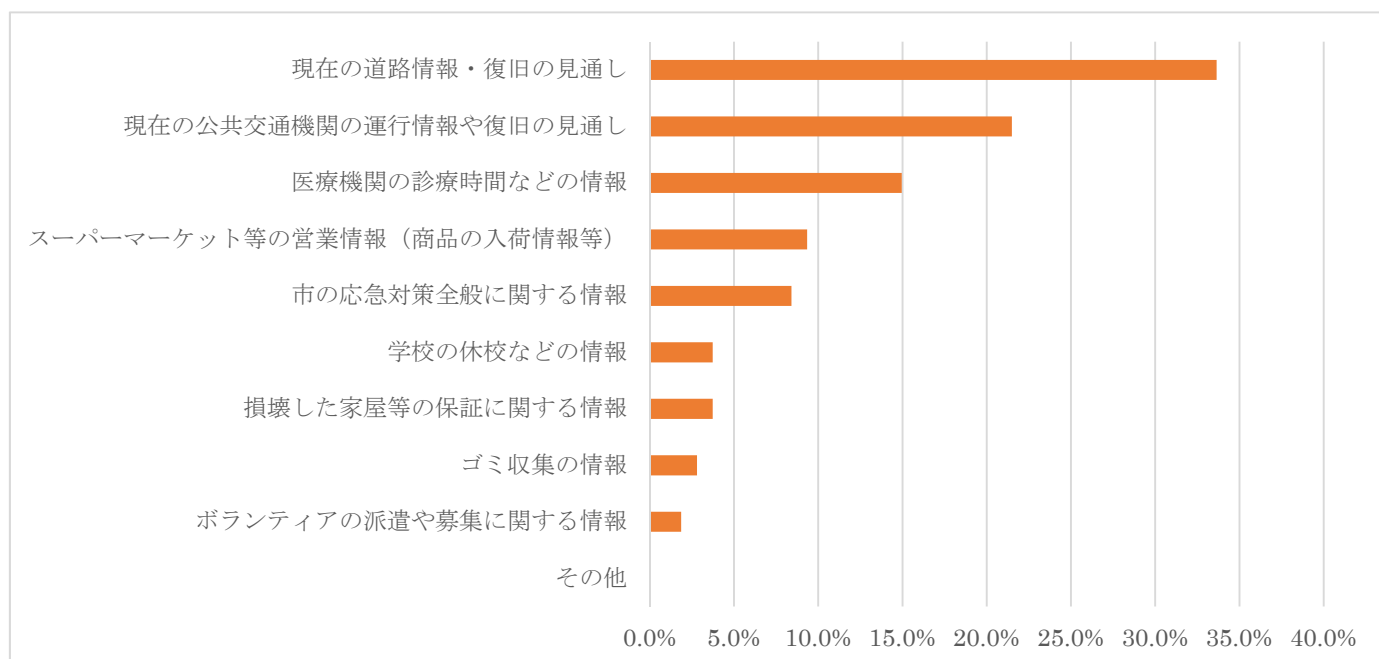
選択肢	回答数	回答割合
テレビ	36	45.6%
ラジオ	13	16.5%
県・市の登録制メール(あんしんトリピーメール)	9	11.4%
防災行政無線	8	10.1%
その他のホームページ	5	6.3%
ツイッター等のSNS	4	5.1%
県のホームページ	4	5.1%
市のホームページ	0	0.0%
友人・知人からのメール	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	79	100.0%



(9) 大規模自然災害発生時又は発生後に欲しい情報はどれですか。

※複数回答可（3つまで）

選択肢	回答数	回答割合
現在の道路情報・復旧の見通し	36	33.6%
現在の公共交通機関の運行情報や復旧の見通し	23	21.5%
医療機関の診療時間などの情報	16	15.0%
スーパーマーケット等の営業情報(商品の入荷情報等)	10	9.3%
市の応急対策全般に関する情報	9	8.4%
学校の休校などの情報	4	3.7%
損壊した家屋等の保証に関する情報	4	3.7%
ゴミ収集の情報	3	2.8%
ボランティアの派遣や募集に関する情報	2	1.9%
その他	0	0.0%
合計	107	100.0%



(10) 鳥取市国土強靱化地域計画について、自由に意見をご記入ください。

自然災害が無いのが望ましいが、あった時の対処は市も個人も必要。
市民で認識している方は少ないと思うので、やはりPR不足であり、改善が必要だと思います。
人命第一に、避難勧告・避難所を早急に対処してほしいです。地域で連携が必要だと思います。
国土強靱化という言葉が不自然。今が弱いということか？ 何か意識を煽っているもしくは誘導しようとしている意図がうかがえる。
一番問題なのは千代川水系が氾濫した場合の対応、全市街地が浸水するは必至である。指定されている避難所自体が大丈夫か、そこに行くまでの手段方法は大丈夫かなど、不安は多くある。
計画・進捗状況を何度も広報すること。
今年の豪雨時に、家の近くの川(大路川)が決壊するかもしれないという事になり、大変、危機感を感じました。「土手」の強靱化が、もしも可能であればやってほしいです。また、その他の治水事業も改めて検討してほしいです。僕は自宅で様子を見たのですが、その他の家族は近くの避難所である小学校で一夜を過ごしました。しかし、避難所として実際に使用する事に係りのかたが不慣れだったとの事でした。実際に想定して訓練するのは、なかなか難しいことかもしれませんが、地球温暖化が進む今日、是非、力を入れてやってほしいです。
常日頃から、危険が予想される河川敷、崖、道路橋梁、各種施設等について調査し、改良保全工事をしておくことが必要。
こどもや高齢者をつれて避難するのが難しい家庭を把握しておくことも必要かと思われる。また、医師の情報も必要だと思う。